

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：2021年 7月 20日

事業所名：GreenWood

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	指定基準を満たしている。怪我に繋がらないよう整理整頓や棚などの配置にも配慮し、活動のスペースを確保している。河原以外に戸外であそべる広場に出かけて、体を動かしたり、虫探しをしたり、外あそびをたくさん取り入れている。	十分活動出来ています。 「はい」94%、「どちらともいえない」6%	引き続き安全に過ごせるよう家具などの配置を考慮しながら活動スペースを広く確保していく。
	2 職員の適切な配置	有資格(教員免許、福祉系、心理系)の職員を配置し、指定基準を満たしている。送迎専任の職員を増やしたことで、指導員が活動を優先し易くなった。	「はい」94%、「わからない」6%	引き続き必要な人員配置に努め、利用者の人数や様子に合わせて細やかな支援を行う。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	施設内のバリアフリーは整っていない。荷物の出し入れをし易いように棚の配置を変え、使い易さの工夫をしている。その日の予定やルールを分かりやすく掲示したり、利用者に応じて顔写真を貼ったりして、視覚支援を行っている。月1回安全点検を行い(施設内、庭、駐車場)、破損箇所があればその都度修理をし、安心・安全に過ごせるよう努めている。下駄箱や施設内の棚に転倒防止の留め具を取り付けた。	特に問題ないです。 「はい」82%、「いいえ」12%、「わからない」6%	引き続き整理整頓を心掛け、利用者に応じて過ごし易い環境づくりに努める。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	感染症対策として、常時玄関と洗面所と活動室に消毒液を置き、来所時、戸外活動後、おやつやお弁当の前に手洗いと手指の消毒を必ず行っている。おやつやお弁当の時には間隔を空けて座り、密にならないよう気を付けている。部屋の温度・湿度を点検し、こまめに換気、除湿、温度管理を行っている。毎日活動後に隅々まで掃除と除菌を行っている。季節感を感じられるように、月毎に壁面飾りを貼り替えている。また利用者が作った作品を玄関に飾り、保護者に見てもらえるようにしている。	いつも清潔にされています。 「はい」94%、「どちらともいえない」6%	引き続き感染症対策をしっかりと行い、衛生的な環境づくりに努める。利用者が作った作品の掲示方法を検討していく。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	より良い事業所を目指し、事業所の月間・年間目標と個人の目標を設定している。定例ミーティングと必要に応じてミーティングを開く柔軟性をもつことで、職員の意思疎通を図り、問題や課題に対して解決策を話し合っている。他部署とは定期的にオンラインでコミュニケーションを図り、対話することを心掛けている。		職員増員により、より情報共有の充実を図っていく。利用者ニーズに応じて、当事業所の特色を強められるように、月間・年間の目標をさらに発展させ、達成に努める。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	コロナ禍の為、外部機関との連携が難しく、第三者評価は受けていないが、団体内からの指摘を活かしながら質の向上に努めている。		今後検討し、体制づくりを進めていく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	コロナ禍の為、外部研修に参加することは難しかったが、研修案内を随時、回覧している。事業所内での研修や、団体内でのオンライン研修を行っている。		オンラインでの外部研修があれば積極的に受講していく。引き続き内部研修を行い、職員の資質向上を目指していく。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	保護者とよく話し合っってニーズや悩みを聴き取り、相談支援事業所とも連携し、情報共有を重ねている。アセスメントの後は、職員で会議を行い課題を検討し、分かりやすい個別支援計画書の作成を心がけている。	「はい」94%、「どちらともいえない」6%	引き続き相談支援事業所と連絡を密にし、保護者からのニーズを聴き取り、利用者一人ひとりに合わせた、分かりやすい個別支援計画書の作成に努める。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	個々の特性に合わせた内容で、全体活動、集団活動、個々の活動の目標を設定した計画を作成している。	「はい」94%、「どちらともいえない」6%	
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	保護者からニーズを聴き取り、長期・短期の目標を設定し、それに合わせた内容で課題・支援目標・支援内容を具体的に記載している。	「はい」94%、「どちらともいえない」6%	
	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	職員が、個別支援計画書や他の資料にも目を通し、計画書に沿った支援を心掛けるとともに、状況に応じた細やかな支援を行っている。	「はい」94%、「どちらともいえない」6%	引き続き丁寧に細やかな支援を行う。利用者一人ひとりがいろいろな過ごし方が出来るよう、個々に合わせた教材の提供を整えていく。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	年間計画、月案、日案の計画を作成し、職員で話し合っってプログラムを考えている。		引き続き職員で十分に話し合い、充実した活動内容にしていく。
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	急な欠席や、学校のお迎え時間の変更にも臨機応変に対応している。欠席した時は必ず振替日を検討し、支援が途切れないようにしている。学校お迎え時には、担任の先生と情報交換を行い、その日の支援に繋げている。利用者の来所時間に合わせて柔軟にプログラムを組んでいる。		引き続き利用者に合わせたきめ細やかな支援を行う。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	季節の行事を取り入れたり、集団活動や個別活動、戸外や屋内での活動など、利用者人数に応じて取り組み方を工夫している。前年度のプログラム内容を参考にし変化させながら、様々な活動を行っている。天気によって活動内容や活動場所を臨機応変に対応している。今年度から週毎の活動と月毎の活動も行っている。活動内容は、子どもの意見も取り入れ、同じあそびでもルールを変え、変化のあるあそびに展開させている。	色々な活動を考えてしてもらっています。外での活動もしっかりできてありがたいです。 「はい」100%	引き続き感染症対策を十分に行いながら、個々の利用者に合わせた活動を取り入れていく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
適切な支援の提供(続き)	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	毎日活動前に、その日の活動の内容や流れ、役割、気を付けることなどを詳しく打ち合わせしている。	非常勤の出勤時間が様々な為、打ち合わせに参加できない職員もいるので、全職員に、その日の利用者情報や活動内容の伝達を徹底していく。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	毎朝の朝礼でその日の申し送りをしたり、月2回の共有ミーティングを行ったり、気になることがあれば、その都度話し合いの時間を設け、情報共有することを心掛けている。活動後は毎日個別記録を記入し、支援の振り返りと情報共有を重ねている。	職員が増え、全員が集まる機会がなかなか持てないが、職員全員で情報共有する時間を設けるなど、定例化を検討したい。
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	月2回の共有ミーティングと、気になることがあればその都度話し合いを行い、その中で支援の振り返り、検証、記録を行っている。連絡帳、個別記録、活動全体の記録を毎日、正確に丁寧に行うことを心掛けている。	引き続き丁寧な記録作成と共に、支援の検証も行っていく。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	事前に利用者の様子を職員で情報共有してから半年に1回のモニタリングを行っている。保護者から聴き取りをした後、再度職員で話し合いをして個別支援計画書を作成している。	引き続き保護者と十分に情報共有をし、個別支援計画書を作成していく。
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	担当者会議には必ず参加している。相談支援事業所と電話での情報共有も行っている。他の職員にも内容を報告し、情報共有している。	引き続き密に情報共有し、支援に繋げていく。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	該当する利用者の受け入れを行っていない。	
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	該当する利用者の受け入れを行っていない。	
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	相談支援事業所を通して情報共有を行っている。	引き続き丁寧に情報共有を行っていく。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	現在、該当する利用者がいないので行っていない。	今後、円滑な移行支援に関して情報を収集し、学びを深めていきたい。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	コロナ禍の為、参加が難しかった。	今後オンライン研修等、積極的に参加していきたい。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	7 児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	当団体内のキャンプの案内を行っている。	「はい」18%、「どちらともいえない」12%、「いいえ」12%、「わからない」52%、「無記名」6%	引き続き活動の案内を発信していく。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	現在、行っていない。		今後、検討していきたい。
保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	支援の内容は、面談の時に個別支援計画書を見ながら説明をしている。利用者負担の変更や更新がある時は、お便りや口頭で連絡をしている。保護者からの質問は、その都度丁寧に回答している。	問題ないです。 「はい」100%	引き続き丁寧に分かりやすい説明を心掛ける。今後も利用者負担の変更や更新がある時は、その都度お知らせしていく。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	面談の時に個別支援計画書を見ながら説明をしている。計画書作成後、保護者に内容を確認してもらい、同意を頂いている。	大丈夫です。 「はい」100%	引き続き丁寧な説明を行う。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	ペアレント・トレーニングの機会を設けるまで至っていないが、送迎の時に、相談があれば個々に対応している。昨年度はコロナ禍の為、親子研修が出来なかった。	「はい」41%、「どちらともいえない」18%、「いいえ」12%、「わからない」29%	今後、検討していきたい。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	送迎の時や連絡帳、電話連絡などを通して、気になることや変化があった時は情報共有をしている。	互いに伝達しています。 「はい」100%	引き続きコミュニケーションをとりやすい環境づくりを行い、保護者との情報共有、共通理解に努めていく。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	面談や送迎の時など、その都度相談に応じ、職員間でも話し合っている。	「はい」100%	今後も保護者の悩みに寄り添っていく。必要があれば関連機関とも連携していく。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	現在、行っていない。	「はい」12%、「どちらともいえない」12%、「いいえ」35%、「わからない」35%、「無記名」6%	今後、検討していきたい。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情対応マニュアルを作成している。契約書に記載し、保護者には契約時に説明をしている。苦情があった時は職員で話し合い、記録を残し、迅速に対応を行う体制はできている。	「はい」65%、「わからない」35%	苦情対応に関して、保護者に周知徹底していく。普段から保護者とのコミュニケーションを大事にしていく。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	連絡帳からお知らせをしたり、電話や送迎時に口頭で伝えている。	いつも伝達して下さっています。 「はい」100%	引き続き丁寧に行っていく。
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	今年度からブログを始め、活動内容を写真と共に紹介している。活動概要や行事は事前にお便りでお知らせしている。	活動中の写真などあれば嬉しいです。 「はい」52%、「どちらともいえない」18%、「いいえ」6%、「わからない」24%	ブログ開始について保護者へ案内し、引き続き情報発信を定期的にしていく。ホームページに、利用者のみ閲覧できるページを作ることを検討していく。連絡体制にメールを取り入れることを検討していく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報に関する書類などは事務室の鍵付き棚に保管している。不要になった書類はシュレッダーにかけて廃棄している。写真や個人情報は保護者から承諾を得て取り扱っている。	「はい」88%、「わからない」12%	写真の撮影、管理を徹底し、引き続き個人情報の取扱いに十分に注意していく。
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各マニュアルは、全職員が閲覧できる状態にしている。案内や改訂がある時は職員間で回覧し、施設内に掲示しているものは最新にしている。	「はい」82%、「わからない」18%	今後も適宜見直しを行い、改訂したら保護者へ周知していく。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	火災と地震の発生を想定し、活動の中で年2回、避難訓練を行い、緊急時の行動について確認を行っている。	年間の訓練の回数、避難場所を教えてください。 「はい」59%、「どちらともいえない」6%、「わからない」35%	避難訓練の様子や避難場所の案内をホームページやブログで保護者にお知らせする。内部研修や、職員だけの訓練も実施していく。
	3 虐待を防止するための職員研修の機会の確保等の適切な対応	昨年度、虐待に関する内部研修を行い、職員間での意識統一と確認をしている。		引き続き定期的に内部研修を行い、意識の向上を図っていく。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	現状身体拘束を実施したことはない。身体拘束のマニュアルは、全職員が閲覧できる状態にしている。契約書に記載し、保護者には契約時に説明をしている。身体拘束の必要がある時は、保護者と十分な話し合いを行い、同意書を書いてもらうことになっている。職員間でも十分に話し合いを重ね対応していくことになっている。		内部研修を行う。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	契約時に、保護者からアレルギー確認アンケートを行い、保護者と相談の上、おやつ提供を行っている。おやつ提供用に、誰が見ても分かるようにアレルギー確認表を作成している。おやつ提供時は、複数人の職員でおよつ提供確認を行っている。		引き続き保護者との情報共有などで、アレルギーに関して正確に把握し、食物提供時には、職員で十分な確認を行っていく。内部研修を行う。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	事故が起きた場合は、速やかに会議を開き、職員で情報共有し、対策や防止策を話し合っている。ヒヤリハット報告書を作成し、全職員がいつでも閲覧できるようにしている。月1回の安全点検(施設内・庭・駐車場)と、毎日活動前に施設内の点検を行い、怪我や事故に繋がらないよう、小さな破損でも事前に修理している。		引き続きヒヤリハット報告書やミーティングを通し、全職員で把握していく。今後も安全点検をしっかりと行う。